

【グローバル・キャンパス・アジア(国際協力型)】

中国・黄土高原緑化スタディーツアー

【6期生】(GCA黄土高原) 25年間、日本人が木を植え続けた場所へ

●基礎教養科目「海外フィールド研修(国際環境協力研究)」対象プログラム



1
2
3

- 1) 雲崗石窟(大同)
- 2) 植林25周年記念式典
- 3) カササギの森(大同)

黄土高原緑化活動とは?

中国内陸部の黄土高原の沙漠化は黄砂や黄河の水不足の原因でした。1990年代から中国政府と日本の環境NGOが協力して緑化活動にとりくみ、現在では多くの土地で緑が復活しています。黄土高原で活動するNPO「緑の地球ネットワーク(GEN)」は25年間にわたって緑化協力を続けてきました。2017年からは河北省張家口市蔚県を新たな植林地として活動をすすめます。このツアーでは地元の子もたちと一緒に植林活動に参加し、現地の生活を理解しつつ、日本人が国際社会でどのように活躍してきたのかを感じる研修になることでしょう。

基本情報

参加費

15万円(予定)

日程 2018年8月25日~30日(6日間)

※参加費には航空券・海外旅行保険料・宿泊費・現地での交通費・食費を含みます。

募集人数 10名

募集対象 学習院大学の全学生

主催 緑の地球ネットワーク(GEN)

派遣場所 中国・河北省張家口市、北京市

渡航委託業者 (株)マイチケット



山の上で植林



けっこう疲れる、植林



植林をおえて、全員で「イー・アール・ササノエ」(笑)

研修内容

GCA黄土高原ではGENのスタディーツアーに参加し、植林を通じて中国・黄土高原の人々の生活、日本人による国際環境協力について考えます。GENでは25年間の緑化の実績を



スイカをみんなで食べる!!

新たな植林地である張家口市蔚県の活動に活かそうとしています。しかし、異なる場所で同じような成果がだせるのでしょうか。参加者の皆さんで見守っていきましょう。植えた木が10年後に森になることを実感できる貴重な体験があなたを待っています。



おいしい中国の田舎料理

私がオススメします!!



中国が初めての人から留学経験者まで、普通の観光では行けないような農村や自然を満喫できる一週間の旅!

納谷優理子

(GCA黄土高原2016参加 / 文学部英語英米文化学科2年生)



中国語ができなくても中国の生活や文化を肌で感じられ、植物や町おこしに関する興味深い話が沢山聞けます!

秋田実穂子

(アルガス2015-GCA黄土高原2016参加 / 文学部史学科3年生)